

第1回 金沢方式あり方検討懇話会

令和6年7月22日（月）

1. はじめに（経緯、歴史等）

金沢方式とは

昭和27年、新たな公民館の設置に際して、
多少の地元負担を伴っても
校下ごとに公民館が欲しいとの
地域住民の強い要望を受けて、
地元が一定割合を負担することによって、
当初計画より30館多い公民館を
開設したことに始まった、
児童館、消防団でも採用されている、
地域が一定の負担をしながら自主的運営を行う方式

施設数の比較（参考）

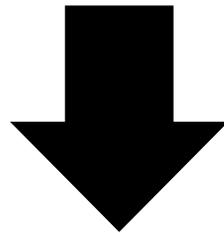
いずれも中核市平均を上回る数を保有

| 施設区分 | 施設数・分団数 | |
|------|---------|----------|
| | 金沢市 | 中核市平均（※） |
| 公民館 | 61 | 31 |
| 児童館 | 32 | 10 |
| 消防分団 | 49 | 36 |

※公民館、児童館は「中核市市長会 都市要覧」より（R5）
消防分団は金沢市消防局の独自調査より（H28）

経緯（概要）

金沢 … 町内自治、善隣館活動など
相互扶助の精神による
自治活動が古くから活発



戦災を免れたこともあり、
この流れは戦後にも継承

経緯（概要）

校下・校区を
単位とした地域の**連帯意識**の高まり

「多少の地元負担を伴っても
各校下に公民館が欲しい」
（昭和27年）

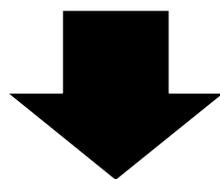
具体的な活動（昭和30年代頃）

- ・ 青年教育（若者の職業人としての技能習得など）
- ・ 婦人教育（女性の教養の向上など）
- ・ 子ども会活動支援（子ども活動の発表の場）
- ・ 視聴覚教育活動（紙芝居や映写機…テレビのない時代の娯楽）
- ・ 社会体育（バレーボールによるスポーツ振興など）

→年齢・性別を問わず、地域のあらゆる世代の居場所

- ・ 昭和30年代頃まで、
小学校、善隣館、消防小屋の一部を利用

※主に運営費を地元で負担



- ・ 昭和40年代頃から、
施設の老朽化により
独立した新たな館の建設機運の高まり

※運営費に加え、建設費も地元で負担

(参考) 公民館における市と地元の負担比率の推移

運営費

| | 市 | 地元 |
|----------|--------|--------|
| 昭和27年～ | 47/100 | 53/100 |
| 昭和46年～ | 55/100 | 45/100 |
| 昭和48年～ | 67/100 | 33/100 |
| 昭和53年～現在 | 75/100 | 25/100 |

建設費

| | 市 | 地元 |
|----------|------------------------|--------|
| 昭和40年代頃～ | 75/100 (うち国県25/100) | 25/100 |
| 平成7年～現在 | 75/100 | 25/100 |

※平成7年から国庫補助要件が変更となり、小規模な公民館は対象外

現行の制度一覧（令和6年4月時点）

| 施設等 | | 区分 | 市負担割合 | 地元負担割合 |
|------|-------------|-------|---|---|
| 公民館 | 新築・改築 | 建物改修 | 75/100 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100 | 25/100 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100 |
| | | 備品整備 | | |
| | | 運営費 | 75/100 別途、1,000世帯を下回る館に人件費助成 | 25/100 |
| | 児童館 | 新築・改築 | 75/100 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100 | 25/100 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100 |
| | 建物改修 | | | |
| | 備品整備 | 100% | 0% | |
| | 運営費 | 100% | 0% | |
| 消防分団 | 器具置場 警鐘台 | 新築・改築 | 75/100 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100 | 25/100 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100 |
| | | 建物改修 | | |
| | ポンプ車 搬送車 | 新規・更新 | | |
| | | 備品整備 | 100% | 0% |
| | | 運営費 | 100% | 0% |

2. 地域を取り巻く環境の変化

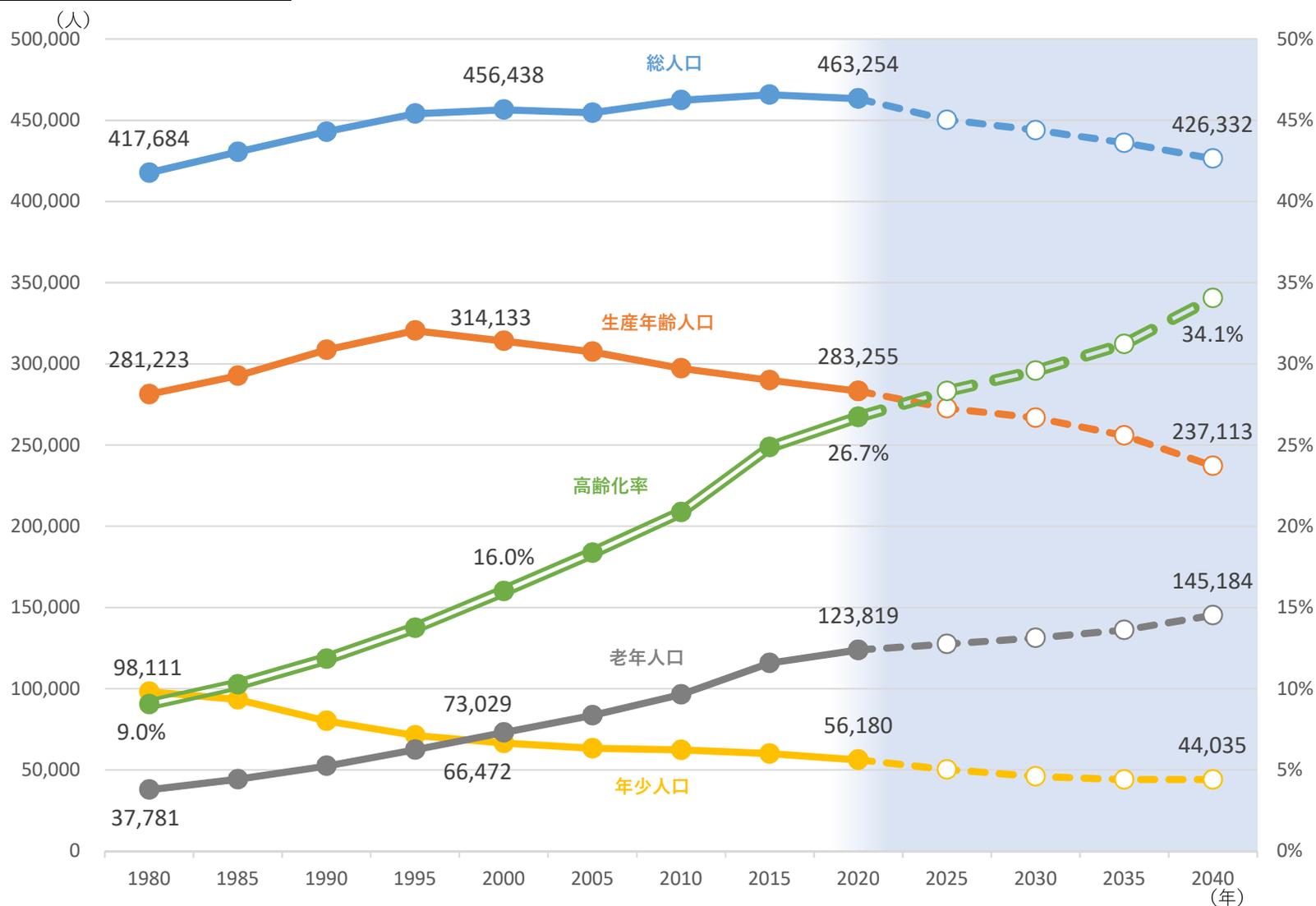
地域を取り巻く環境の変化

- ① 人口減少、少子高齢化の進展による
地域活力の低下
- ② デジタル技術の進展による
価値観や生活様式の変化
- ③ 連帯意識の希薄化による
町会加入率の減少

など

①人口減少、少子高齢化の進展について

金沢市 人口等の推移

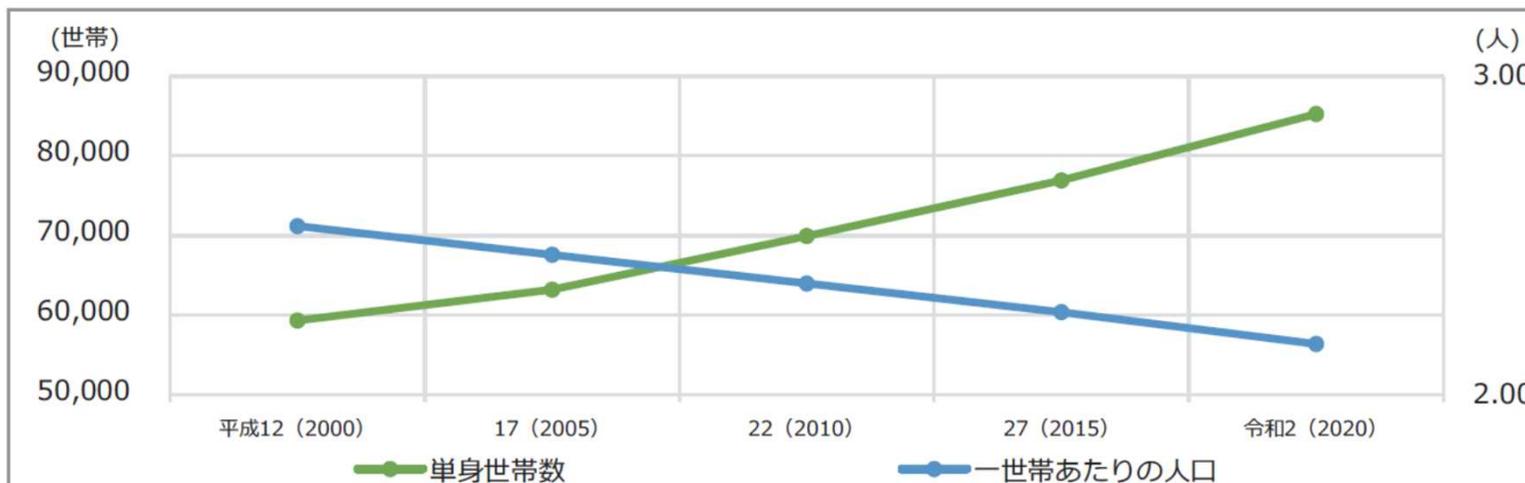


出典：2020年までは国勢調査、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

② 価値観や生活様式の変化について

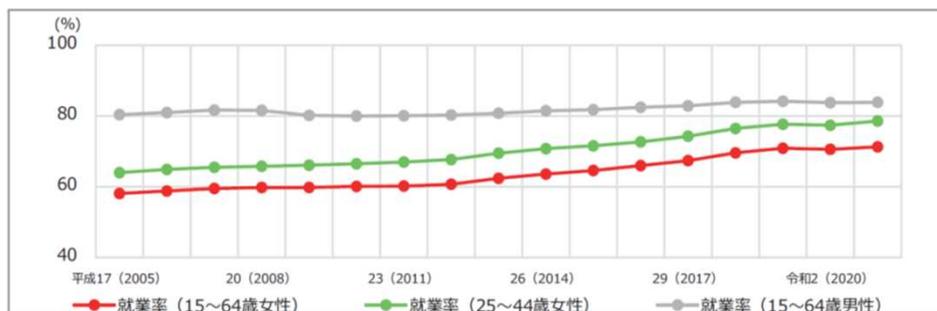
単身世帯数や女性・高齢者雇用の増加

金沢市における単身世帯数と一世帯あたりの人口の推移



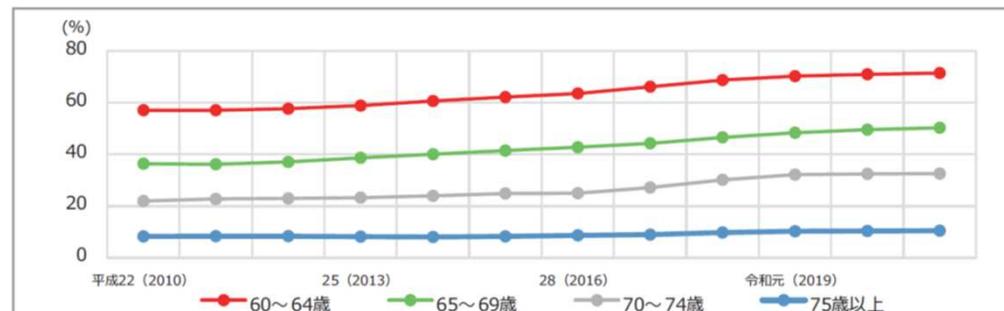
出典：令和2年国勢調査結果より作成

【参考1】女性就業率の推移（全国）



出典：令和4年版 男女共同参画白書

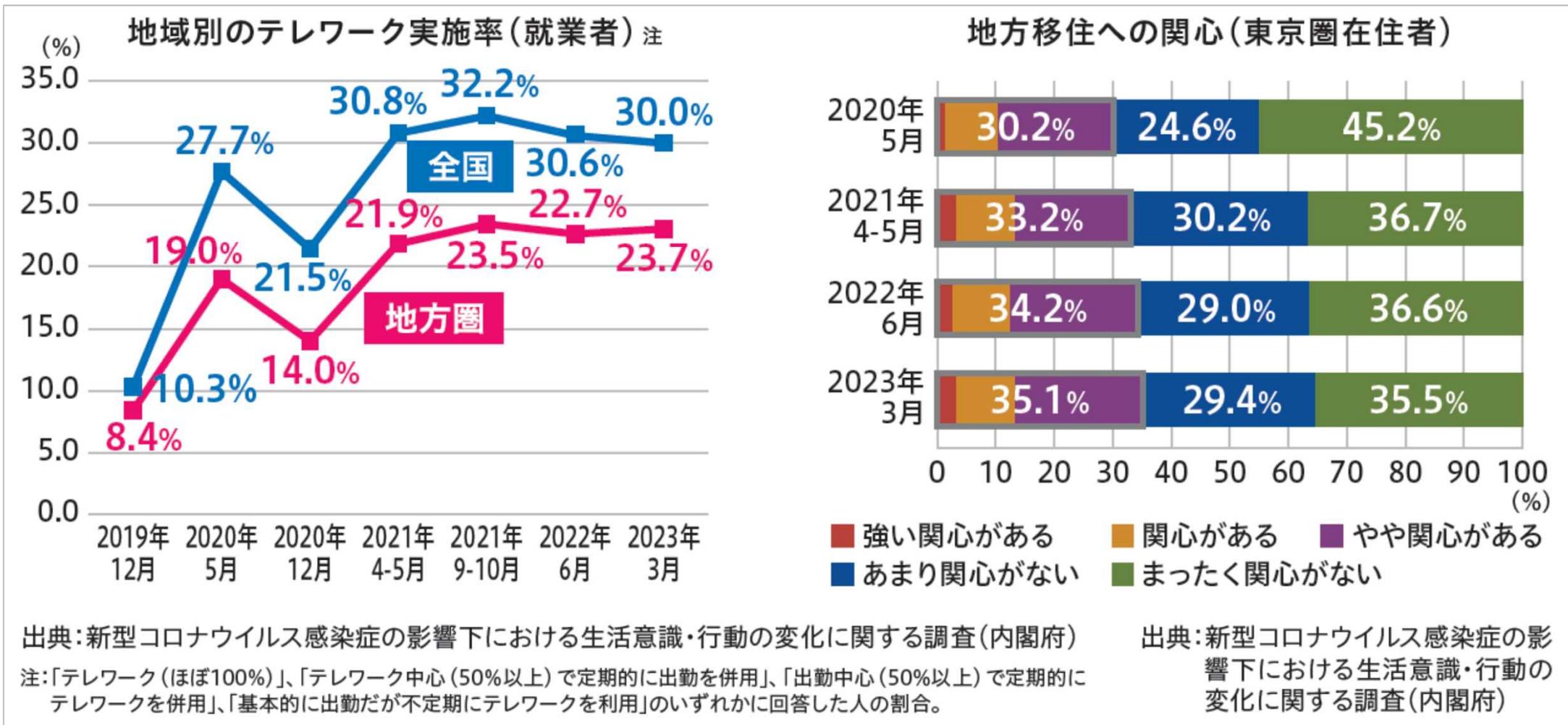
【参考2】高齢者就業率の推移（全国）



出典：令和4年版 高齢者白書

② 価値観や生活様式の変化について

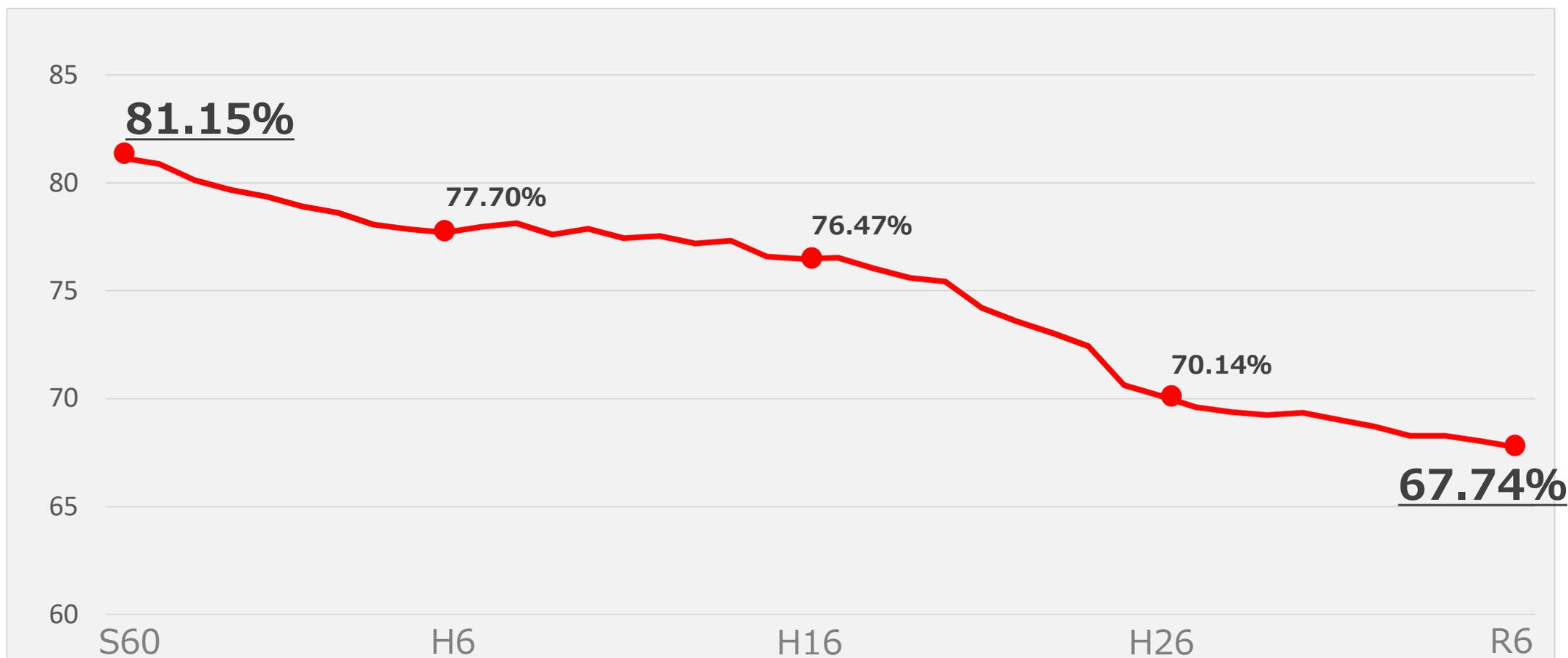
新型コロナウイルス感染症による変化



③ 町会加入率の減少について

本市の町会加入率の推移

昭和60年度 → 令和6年度 (約14ポイントの減)



出典：金沢市地域コミュニティ活性化推進計画2023より作成

第1回会議の論点

地域における課題について

- (例)
- ・ 担い手不足
 - ・ 地域活動
(公民館、児童館、消防分団)
 - ・ 施設の老朽化
 - ・ 物価、資材高騰

など

令和6年度の主なスケジュール

【スケジュール（案）】

| 時期 | 内容 |
|---------|---|
| 7月22日 | 第1回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・ 概要説明・ 地域における課題に関する意見交換 |
| 8月頃 | 第2回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・ 見直しの方向性 など |
| 10～11月頃 | 第3回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・ とりまとめ |